

レジデントの1日

放射線治療編



皆さん、こんにちは！

聖マリアンナ医科大学放射線科レジデントの小林真梨子です。

私は、手術では治せない癌の根治治療や緩和照射ができる放射線治療に魅力を感じ、また癌患者の方に寄り添うということにとってもやりがいを感じて放射線治療医を志すようになりました。

放射線治療の先生は、普段どんな仕事をしているんだろう？と疑問に思っている方も多いと思います。

今回は私たちの日常をお伝えしたく、レジデントの1日を紹介したいと思います。



8時30分 出勤

おはようございます！

ここは治療計画室です。

出勤したら、照射中の患者さんの状態をカルテで確認します。



9時 外来

初診時の診察や治療説明、照射中や照射後経過観察中の患者さんの診察が始まります。

照射による身体面の変化のみならず、癌患者さんの精神面でのケアも大切にしています。



10時 治療計画CT

1日約3-5件の治療計画CTを行っています。

この日は4D-CTによる肺癌の定位放射線治療の計画がありました。

最近は前立腺癌に対するIMRT併用寡分割照射も始まりました。



12時30分 昼食&休憩

食堂で食べたり、時間があるときは中華料理やレストランに行ったりします。

食後は院内にあるドトールのコーヒーを飲んで、ほっとひと息。

午後からもまた頑張るぞ！



14時 RALS

RALSとは小線源治療の一つで、Remote After Loading System（遠隔操作密封小線源治療）の頭文字を取ったものです。

主に、子宮頸癌の腔内照射を行っています。



15時 治療計画

放射線治療計画装置を使って
治療計画をします。

当院では乳癌の症例数が多く、
乳腺外科と合同で研究が為さ
れています。



一通り治療計画が終わったら、上級
医の先生にチェックして頂きます。

とても熱心かつ丁寧に指導して頂ける
のも魅力です。

約2年間、画像診断のトレーニングも
積んだので、その経験が治療計画に
とても役立っています。



17時 治療カンファレンス

毎週金曜日に治療カンファレンスをしています。

全80-100症例を、医師、放射線技師、物理士、看護師と共有し、症例検討しています。

この日は18時30分に業務が終了しました。これより遅い日もありますが、早い日は17時に終わります。



他科カンファレンス

耳鼻科や婦人科、乳腺外科との
合同カンファレンスを、画像診
断医とともに行っています。

他科の先生に信頼される治療医
になれるように頑張ります！



耳鼻科カンファレンスの風景



以上が簡単ですが、放射線治療レジデントの
1日です。
興味のある方はぜひ1度見学にいらしてください！
詳しくは放射線科HPまたは以下URL参照ください。

<http://www.marianna-u.ac.jp/Radiology/study/017318.html>

